

九州大学経営協議会議事概要

日 時：令和5年1月24日（火）13：00～14：00

場 所：対面およびwebにより開催

出席者：28名中25名出席

【審議事項等】

1 中期計画の変更について

中期計画の変更について説明があり、審議の結果、これを議決した。なお、今後修正が生じた場合は、総長に一任することとした。

2 九州大学における今後の資金運用について

九州大学における今後の資金運用について説明があり、審議の結果、これを議決した。

3 統合報告書について

統合報告書2022の発行について報告があった後、以下の意見交換があった。

- ・財務情報については詳細に記載されているが、例えば、ダイバーシティの進捗状況や若手研究者支援など、学生や教職員に対する人的な面での取組についても記載した方が大学全体の状況が伝わりやすくなる。
- ・外国語版があれば、活用したい。→作成について検討することとした。
- ・脱炭素や環境問題等に対して、大学全体としての活動や取組についても記載したほうがよい。
- ・民間の会社の場合は、投資家などのステークホルダー向けに統合報告書を作成しており、SDGsについて大きく取り扱っている。九大の場合は、SDGsに関する記述が不足しており、本来であればもっと大きく取り扱うべきではないかと思う。
- ・昨年度と同じ写真が使用されているページがあるが、その年の情報を的確に伝えるためにも変えたほうが良い。

4 国際卓越研究大学について

国際卓越研究大学の概要について報告があった後、以下の意見交換があった。

- ・日本の国際競争力が特に研究開発の分野で低下している中で、世界と伍する研究力のある大学に集中的に助成を行うということで、相当に厳しい選考基準になっており、それを突破するためにはあらゆる角度から検討して十分な準備のもとに臨む必要がある。
- ・自律と責任あるガバナンスなど、資料に示されている各観点については、国際卓越研究大学として認可されたときのみ限らず、レベルアップを目指す国立大学法人にとっては一つの方向性を示していると考えていいか。
→国際卓越研究大学の認可の如何にかかわらず、本学の目指す一つの方向として考えている。
- ・国際卓越研究大学には大学独自基金の拡充が必要ということであるが、使用目的が限定されていない寄附金が大学の将来的な運営に欠かせないことをもっとアピールするべきである。
- ・ダイバーシティ、エクエティ、インクルージョンや九州地区の大学間等の連携についても構想に入れて欲しい。

- ・ 次回の経営協議会は令和5年3月23日（木）に開催予定である旨の案内があった。

（ 以 上 ）